

平成 26 年度 事業報告書

学校法人 大垣女子短期大学

I 法人の概要

- (1) 建学の精神
- (2) 法人の沿革
- (3) 設置する学校・学科等
- (4) 入学定員、収容定員、入学者数
- (5) 在籍者数、収容定員充足率
- (6) 教員一人当たり学生数
- (7) 卒業者数
- (8) 退学者数・退学率
- (9) 社会人学生数・留学生数
- (10) 役員
- (11) 評議員
- (12) 教員数及び年齢構成
- (13) 職員数
- (14) 大垣女子短期大学の国際交流・社会貢献等の概要

II 事業の概要

- (1) 教育・研究
- (2) 学生支援
- (3) 施設整備・管理・運営
- (4) 地域社会との連携及び貢献

III 財務の概要

- (1) 平成 26 年度決算の状況
○収入について ○支出について
- (2) 経年比較

IV 決算書類

- (1) 財産目録
- (2) 貸借対照表
- (3) 資金収支決算書
- (4) 消費収支決算書
- (5) 監査報告書

I 法人の概要

(1) 建学の精神

「中庸を旨とし 勤労を尊び 職業人としての総合能力を有する 人間性豊かな人材の養成」

(2) 法人の沿革

昭和 44 年 2 月	学校法人大垣女子短期大学 設立認可 大垣女子短期大学 設置認可 幼児教育科第一部 設置認可
昭和 44 年 4 月	同上 開設
昭和 45 年 1 月	幼児教育科第三部 設置認可
昭和 45 年 4 月	同上 開設
昭和 46 年 1 月	美術科、音楽科 設置認可
昭和 46 年 4 月	同上 開設
昭和 49 年 2 月	保健科第一部 設置認可
昭和 49 年 4 月	同上 (歯科衛生士養成課程) 開設
昭和 52 年 1 月	保健科第三部 設置認可
昭和 52 年 4 月	同上 (歯科衛生士養成課程) 開設
昭和 62 年 4 月	保健科第一部、保健科第三部を歯科衛生科第一部、歯科衛生科第三部に名称変更認可
平成元年 6 月	美術科を デザイン美術科 に名称変更認可(美術科の名称にて入学した学生が卒業するまでは、デザイン美術科とともに寄附行為に併記する。)
平成 2 年 12 月	国際教養科 設置認可
平成 3 年 4 月	同上 開設
平成 3 年 5 月	美術科の名称にて入学した学生が卒業(平成 3 年 3 月 21 日)したため、美術科を削除する寄附行為変更認可
平成 12 年 7 月	歯科衛生科第三部、国際教養科を廃止する寄附行為変更認可
平成 14 年 4 月	歯科衛生科第一部を 歯科衛生科 に名称変更認可(歯科衛生科第一部の名称にて入学した学生が卒業するまでは、歯科衛生科とともに寄附行為に併記する。)
平成 15 年 4 月	歯科衛生科 修業年限3年に変更
平成 16 年 4 月	音楽科を 音楽総合科 に名称変更認可(音楽科の名称にて入学した学生が卒業するまでは、音楽総合科とともに寄附行為に併記する。)
平成 17 年 3 月	幼児教育科第三部 廃科
平成 18 年 4 月	幼児教育科第一部を 幼児教育科 に名称変更寄附行為届出(幼児教育科第一部の名称にて入学した学生が卒業するまでは、幼児教育科とともに寄附行為に併記する。)
平成 19 年 4 月	幼児教育科 収容定員変更認可(200名→300名)
平成 20 年 4 月	歯科衛生科 収容定員変更認可(240名→150名)
平成 21 年 3 月	寄附行為 一部変更認可(理事定数の削減 10人以上 13人以内 → 8人以上 10人以内、評議員 27人以上 30人以内 → 21人以上 25人以内)
平成 22 年 4 月	幼児教育科 収容定員変更認可(300名→150名) デザイン美術科 収容定員変更認可(160名→100名) 寄附行為 一部変更認可(役員、評議員の任期 4年→2年)
平成 24 年 2 月	寄附行為 一部変更認可(日本中央看護専門学校設置)
平成 24 年 4 月	学校法人大垣女子短期大学 日本中央看護専門学校 設置 日本中央看護専門学校看護学科 看護師養成所指定 日本中央看護専門学校看護学科 学生募集中止
平成 24 年 6 月	大垣女子短期大学 収容定員変更認可(500名→740名)
平成 24 年 8 月	大垣女子短期大学看護学科 看護師学校指定認可
平成 25 年 4 月	大垣女子短期大学看護学科 開設(入学定員 80名、修業年限 3年) 大垣女子短期大学看護学科 看護師学校指定
平成 27 年 3 月	日本中央看護専門学校 廃止

(3)設置する学校・学科等

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

学校名	学科名	備考
大垣女子短期大学	幼児教育科 デザイン美術科 音楽総合科 歯科衛生科 看護学科	H25.4 開設
日本中央看護専門学校	看護学科	H24 募集中止

(4)入学定員、収容定員、入学者数

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

学校名	学科名	入学定員 (人)	収容定員 (人)	入学者数 (人)
大垣女子 短期大学	幼児教育科	50	150	37
	デザイン美術科	50	100	36
	音楽総合科	50	100	48
	歯科衛生科	50	150	63
	看護学科(1,2年次のみ)	80	160(完成年度 240)	75
短期大学 合計		280	660(完成年度 740)	259
日本中央看護 専門学校	看護学科(募集中止)	—	40(当初 120)	—

(5)在籍者数、収容定員充足率

(各年度 5 月 1 日現在)

学校名、学科名		平成 24 年度 (人)		平成 25 年度 (人)		平成 26 年度 (人)	
大垣女子 短期大学	幼児教育科	1 年次	32	106	50	116	37
		2 年次	36		32		46
		3 年次	38		34		33
		収容定員充足率	70.7%		77.3%		77.3%
	デザイン美術科	1 年次	38	77	47	81	36
		2 年次	39		34		49
		収容定員充足率	77.0%		81.0%		85.0%
	音楽総合科	1 年次	50	110	52	104	48
		2 年次	60		52		49
		収容定員充足率	110.0%		104.0%		97.0%
	歯科衛生科	1 年次	63	153	66	172	63
		2 年次	44		60		59
		3 年次	46		46		61
		収容定員充足率	102.0%		114.7%		122.0%
	看護学科 (1,2年次のみ)	1 年次	—	—	93	93	75
		2 年次	—		—		92
3 年次		—	—		—		
収容定員充足率		—		116.3%		104.4%	
合計		446		566		648	
収容定員充足率		89.2%		97.6%		98.2%	
日本中央看護専門学校 看護学科 (募集中止)	1 年次	43	131	—	83	—	
	2 年次	37		41		41	
	3 年次	51		42		41	
収容定員充足率		109.2%		103.4%		102.5%	

(6) 教員一人当たり学生数

(単位:人)

大垣女子短期大学	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
幼児教育科 (総合教育センター含む)	9.6	10.5	10.5
デザイン美術科	15.4	16.2	17.0
音楽総合科	22.0	17.3	16.2
歯科衛生科	13.9	15.6	18.3
看護学科	—	9.3	11.1
合計	13.9	13.2	13.8

(7) 卒業生数(学位授与者数)

(単位:人)

大垣女子短期大学	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
幼児教育科	35	31	28
デザイン美術科	36	31	44
音楽総合科	52	50	49
歯科衛生科	43	43	55
看護学科	—	—	—
合計	166	155	176

(8) 退学者数・退学率

大垣女子短期大学	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	退学 (人)	退学率 (%)	退学 (人)	退学率 (%)	退学 (人)	退学率 (%)
幼児教育科	5	4.7	6	5.2	4	3.4
デザイン美術科	6	7.8	0	0	3	3.5
音楽総合科	4	3.6	3	2.9	0	0
歯科衛生科	2	1.3	7	4.1	5	2.7
看護学科	—	—	1	1.1	4	2.4
合計	17	3.8	17	3.0	16	2.5

(9) 社会人学生(4/1 現在で 25 歳以上)数・留学生数

(単位:人)

大垣女子短期大学	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	社会人/留学生	社会人/留学生	社会人/留学生
幼児教育科	2/0	3/0	1/0
デザイン美術科	0/0	0/0	0/0
音楽総合科	0/0	0/0	0/0
歯科衛生科	3/0	1/0	1/0
看護学科	—	1/0	6/0
合計	5/0	5/0	8/0

(10) 役員

(平成 27 年 5 月 28 日現在)

定員数 理事 9 人以上 11 人以内、監事 2 人

		氏名	常勤・非常勤の別
理事 現員数 9人	寄附行為第 6 条第 1 項 第 1 号(学長)	曾根孝仁	常勤
	寄附行為第 6 条第 1 項 第 2 号 (3 人以上 4 人以内) 現員数 4 人	田中勝英	非常勤
		服部篤典	常勤
		石川隆義	常勤
		吉田健	常勤
	寄附行為第 6 条第 1 項 第 3 号 (4 人以上 5 人以内) 現員数 4 人	理事長 中野哲	非常勤
		副理事長 安田隆夫	非常勤
		常務理事 平林佳郎	非常勤
	監事 現員数 2 人 寄附行為第 5 条第 1 項第 2 号(2 人)	広瀬幹雄	非常勤
子安一徳		非常勤	
	矢橋慎哉	非常勤	

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の 退任役員		氏名	常勤・非常勤の別
理事	寄附行為第 6 条第 1 項 第 1 号(学長、校長)	伊藤恒子	常勤
		平成 24 年 4 月理事就任 平成 27 年 3 月退任	

(11) 評議員

(平成 27 年 5 月 28 日現在)

定員数 21 人以上 25 人以内

		氏名
評議員 現員数 24人	寄附行為第 22 条第 1 項 第 1 号(法人職員) (9 人) 現員数 9 人	矢田貝真一
		森山高明
		吉田紀子
		川合健司
		吉田健
		永縄直樹
		加納秀美
		宮脇章
		伊藤恒子
	寄附行為第 22 条第 1 項 第 2 号(卒業生) (3 人以上 4 人以内) 現員数 4 人	北村君子
		杉山里津子
		関谷智子
		光井恵子
	寄附行為第 22 条第 1 項 第 3 号(学識経験者) (9 人以上 12 人以内) 現員数 11 人	中野哲
		田中勝英
		浅野妙子
		石川隆義
		杉山勝治
		岩田千鶴子
		加藤有子
	服部篤典	
安田隆夫		
西川正晃		
曾根孝仁		

(12)教員数及び年齢構成

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

<大垣女子短期大学>

学科名	専任教員数 (人)					短期大学設置 基準で定める 教員数 (人)	兼任 教員数 (人)
	教授	准教授	講師	助教	計		
幼児教育科 (総合教育センター含む)	5	3	3	0	11	8	122
デザイン美術科	3	1	1	0	5	5	
音楽総合科	2	3	1	0	6	5	
歯科衛生科	3	4	0	3	10	10	
看護学科	3	2	6	4	15	10	
小 計	16	13	11	7	47	38	
全体の入学定員数に応じて定められる専任教員数						5	
合 計	16	13	11	7	47	43	

学科名	年代 (人) (平均年齢 49.4 歳)							合計
	29 歳 以下	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70 歳 以上	
幼児教育科	0	1	4	5	1	0	0	11
デザイン美術科	0	1	1	2	1	0	0	5
音楽総合科	0	0	4	2	0	0	0	6
歯科衛生科	0	4	0	4	2	0	0	10
看護学科	0	2	4	6	1	2	0	15
合 計	0	8	13	19	5	2	0	47

<日本中央看護専門学校>

学科名	専任教員数 (人)	看護師養成所指定規則で 定める教員数 (人)	兼任 教員数(人)
看護学科	8	看護師 8	6

(13)職員数

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

<学校法人及び大垣女子短期大学>

所 属	部 署	専任職員数 (人)	兼務 (人)
学校法人大垣女子短期大学	事務局長	1	
	総務課	4	
	合 計	5	
大垣女子短期大学	事務局長	1	内、兼務 1
	総務課	4	内、兼務 4
	教務課	3	
	入試・広報課	3	内、兼務 1
	学生支援課	5	
	図書館事務室	2	内、兼務 1
	合 計	18	内、兼務 7

<日本中央看護専門学校>

所 属	部 署	専任職員数(人)	兼務(人)
日本中央看護専門学校	事務長	1	内、兼務 1
	職員	2	
	合 計	3	内、兼務 1

(14)大垣女子短期大学の国際交流・社会貢献等の概要

【海外の協定】

フランス共和国 ユーラジウム校

協定締結日 : 平成26年2月25日

協定の概要 : 学生、教職員、両当事者が合意するその他の活動について、交流及び協力を推進する。

【社会貢献活動】

大垣市

協定締結日 : 平成19年10月3日

協定の概要 : 多様な分野で包括的に連携・協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

協定締結日 : 平成26年10月1日

協定の概要 : 同競技大会の成功に向け、大学と組織委員会がそれぞれの資源を活用し、オリンピック教育の推進や大会機運の醸成等、大会に向けた取組を進めるため、相互に連携・協力体制を構築する。

【大学間連携】

中日本自動車短期大学

協定締結日 : 平成27年3月25日

協定の概要 : 相互の教育・研究交流を通じ、学生の視野を広げ、学習意欲を高めるとともに、両大学の教育の活性化を図る。

【その他連携】

株式会社 大垣共立銀行

協定締結日 : 平成25年11月26日

協定の概要 : 女性の活動を応援するために、互いに支援、協力する。

II 事業の概要

大垣女子短期大学の教育理念

品格をもとにした豊かな人間性と専門的な知識や技能を身につけ、それらを生かして社会に貢献して人々を支え活躍できる社会人としての女性を育成する。

大垣女子短期大学の教育方針

- 1) 一人ひとりの学生を大切にして主体性と自律性を培う教育(学生重視の姿勢)
- 2) 目標をもってそれぞれの専門的な知識や技能を学べる教育(知識技能の習得)
- 3) 徳育を重視しながら知育・体育とのバランスのとれた教育(徳・知・体の調和)
- 4) 自然や社会の環境と生命を大切にしていく感性を磨く教育(環境と生命重視)
- 5) 地域社会への貢献をとおして自己効力感を体得できる教育(地域貢献の取組)
- 6) 各学科の特性を互いに生かし合ってつながりをもった教育(学科交流の推進)

日本中央看護専門学校の教育目的

豊かな人間性を基盤にし、看護に必要な専門的知識・技術を身につけた有能な人材の育成

日本中央看護専門学校の教育目標

- 1) 看護に必要な知識と技術を統合できる能力を養う。
- 2) 主体性を持ち、責任ある行動が取れる態度を養う。
- 3) 研究心・向上心に富み、人の痛みに寄り添える感性を養う。

(1)教育・研究

○造形・デザインコース、情報・デザインコースを設置(デザイン美術科)

・デジタルイラストレーター 藤ちょこ展

日程:10/24(金)~11/20(木) 於:本学みずきギャラリー

○卒業予定者向け事業(デザイン美術科)

・卒業記念展 日程:2/10(火)~15(日) 於:岐阜県美術館 (約60作品)

・マンガコース作品集発刊(16人分の作品)

・コミックイラストレーションコース作品集発刊(23人分の作品)

○演奏会事業(音楽総合科)

・定期演奏会 日程:10/4(土) 於:大垣スイトピアセンター音楽堂

・卒業演奏会 日程:2/13(金) 於:大垣スイトピアセンター音楽堂

・ウインドアンサンブルフェスティバル

日程:2/22(日) 於:大垣市民会館ホール

○楽器更新(音楽総合科)

トロンボーンスライドセット 959千円、電子オルガン 842千円、チャイム 1,519千円、
コントラバスクラリネット 3,003千円、イングリッシュホルン 1,404千円、チェレスタ 1,782千円

○実習機器の充実

〈歯科衛生科〉

歯科重合用光照射器 280千円、口腔内撮影装置 229千円、ハンドピース 1,220千円

〈看護学科〉

実習モデル各種 1,870千円、その他学内演習用物品各種

○FD 推進事業

教育の質保証とその基盤となる教員の教育力向上に向けて、FDの組織的な取組をさらに推進し、教育内容、授業方法、教育評価の改善を促進した。

- ・FD研修会の開催:8/19(火)
- ・FD フォーラム等への参加
 - 8/27-29 SPOD フォーラム 2014
 - 9/ 4 短期大学教育改革 ICT 戦略会議
 - 2/28-3/1 第 20 回 FD フォーラム
 - 3/13 第 21 回大学教育研究フォーラム
- ・学生による授業評価(前・後期)
- ・授業交流会(前・後期)
- ・卒業生及び保護者に対する満足度調査
- ・卒業生の就職先へのアンケート調査

○SD 推進事業

職員一人ひとりの自己研さん及び業務の専門性を高めるために、外部研修会の受講を推進し、業務改善や能力の向上に努めた。

- ・文部科学省、私立短期大学協会等主催
 - 4/14 学校法人基本調査説明会
 - 6/ 9 私立大学等経常費補助金説明会
 - 6/21 保健管理担当職岐阜地区研究会(第 1 回)
 - 7/ 2 岐阜県私立短期大学協会教務研修会
 - 7/ 2 科学研究費助成事業実務担当者説明会
 - 7/19 岐阜県大学保健管理研究会
 - 8/21 岐阜県学生就職連絡協議会夏期研修会
 - 8/27 岐阜県私立短期大学厚生補導研修会
 - 8/27-29 SPOD フォーラム 2014
 - 9/ 3 岐阜県私立短期大学協会事務担当者研修会
 - 9/ 3- 4 全国大学保健管理研究集会
 - 9/12 学校法人会計基準改正に伴う学校会計ソフトの取扱説明会
 - 9/12 保健管理担当職岐阜地区研究会(第 2 回)
 - 10/ 4 大学教務実践研究会 第 2 回大会
 - 10/27-29 私立短大教務担当者研修会
 - 12/ 3- 5 私立短大学生生活指導担当者研修会
 - 12/20 岐阜県大学保健管理研究会
 - 1/24 京都 FDer 塾 FD シンポジウム
 - 3/ 5 保健管理担当職岐阜地区研究会(第 4 回)
 - 3/ 7 大学教育改革フォーラム in 東海 2015

○国際交流事業

- ・フランス ユーラジウム校学生の受入れ(後期全期間)
- ・韓国 柳韓大学学生の受入れ(9/22~1 週間)
- ・フィリピン 大学生訪日団の受入れ(12/5(金))
- ・マレーシア 大学生訪日団の受入れ(2/2(月))

○ネットワーク大学コンソーシアム岐阜への参加

- ・高大連携セミナー 日程:11/26(水) 於:岐阜大学サテライトキャンパス
- ・教員免許状更新講習における本学内での講義開講
日程:7/12-8/27 全11講座 延べ受講者数:583人

○「文化活動の日」開催

- 日程:10/23(木) 於:本学みずきホール
- 概要:文化人2人の講演と、大正琴の演奏鑑賞

○日本中央看護専門学校卒業式、閉校式

- 日程:3/8(日) 於:大垣フォーラムホテル

(2)学生支援

○募集プロジェクト実施事業〈全学科〉

- ・オープンキャンパス

全学科合同開催	5/18(日)・・・87人	6/22(日)・・・102人	7/27(日)・・・139人
	8/17(日)・・・205人	9/13(土)・・・84人	10/25(土)・・・54人

デザイン美術科単独開催(3/22(日))

- ・入試説明会(12/23(火・祝))
- ・作品の通信添削〈デザイン美術科〉
高校生からの作品を継続的に指導することにより、学科の周知を図った。
- ・まんが甲子園(第23回全国高等学校漫画選手権大会)ガイドブック広告掲載〈デザイン美術科〉
- ・高校訪問〈全学科〉
各科独自のパンフレットを持参、PRに努めた。

○奨学金事業

奨学金給付により、優秀な学生の受入れと経済的困窮による学生の支援を行った。

- ・大垣女子短期大学奨学金

修学支援奨学金(1年次生)・・・28人
成績優秀者奨学金(1年次生・在学生)・・・前・後期延べ42人
経済支援奨学金(全年次)・・・9人
同窓生奨学金(1年次生)・・・12人
社会人入学奨学金(1年次生)・・・6人
科目等履修生奨学金(1年次生)・・・1人
特別奨学金(全年次生)・・・0人

- ・安田特別奨学金(1年次生)・・・前・後期延べ5人
- ・大垣女子短期大学子育て支援事業記念特別奨学金(幼児教育科全年次生)
・・・前・後期延べ26人
- ・その他 日本学生支援機構の奨学金
大垣女子短期大学同窓会奨学金
大垣女子短期大学みずき会奨学金

○健康支援事業

保健室に常時職員(保健師)が勤務し、日常の健康管理及び応急処置を行った。
学生相談室にて、臨床心理士2名による相談業務を行った。

○スクールバス委託事業

学生及び教職員の通学、通勤の利便性を図るため、朝夕のバスを各1便増発した。

○資格取得事業・就職支援事業

平成26年度卒業者の進路状況

(平成27年3月31日現在)

学科名	卒業者	就職希望者	就職決定者	就職率	岐阜県内への就職者数
幼児教育科	28	27	27	100.0	18
デザイン美術科	44	25	23	92.0	16
音楽総合科	49	35	32	91.4	4
歯科衛生科	55	53	53	100.0	21
合計	176	140	135	96.4	59

職種別就職者数

職種	幼児教育科	デザイン美術科	音楽総合科	歯科衛生科	合計
幼稚園教諭	5				5
保育士	16				16
幼保職	2				2
サービス職業		1	2		3
美術		5			5
社会福祉専門職	3		2		5
事務		8	3	1	12
販売	1	5	12		18
生産工程		4	1		5
音楽療法士			5		5
音楽講師			2		2
楽器修理			5		5
歯科衛生士				52	52
合計	27	23	32	53	135

免許・資格取得状況

免許・資格	幼児教育科	デザイン美術科	音楽総合科	歯科衛生科	合計
保育士資格	27				27
幼稚園教諭二種免許	27				27
ピアヘルパー	7		6	1	14
認定ベビーシッター	25				25
社会福祉主事任用資格	28		9	55	92
母子指導員任用資格	27				27
音楽療法士(2種)	4		9		13
レクリエーション・インストラクター	10				10
CGクリエイター検定		7			7
介護職員初任者研修	11		9		20
ヤマハ管楽器リペア グレード Basic 技術者認定			5		5
歯科衛生士				55	55

(3) 施設整備・管理・運営

○建物備品等管理・運営事業

消耗品費(事務用品等)

光熱水費(電気、ガス、灯油、下水料等)

通信費(電話、郵便、インターネット等)

報酬委託費(会計士、弁護士、校医等報酬、消防設備、コンピュータ関係保守点検、電気保安業務、エレベータ点検、セキュリティ業務、清掃業務等)

○修繕事業

C号館空調工事……………30,000 千円

D、E号館1階トイレ改修工事……………2,991 千円

H号館2階トイレ改修工事…………… 7,927 千円

エレベータ2基修理…………… 1,361 千円

I号館1階間仕切り工事…………… 591 千円

各所のエアコン取替、部品交換工事

その他各所の修繕工事

○図書充実事業

看護学科設置計画による図書及び学科推薦や学生希望図書の充実を図った。

○ペンタブレット更新

デザイン美術科授業に活用できるよう、D302、D402等設置用として 51 台を導入した。

(4) 地域社会との連携及び貢献

○子育てサロン「ぷっぷあ」の開催

地域の親子の居場所づくりや情報交換など子育て支援を通じて、幼児教育科の学生を中心に全科の学生が体験学習によって学修意欲を高め、学習成果を一層向上させた。

開設日時:毎週木曜日 10:00~13:00 (第1、3は変則的、8月は休み)

場所:H号館1階

運営メンバー:コーディネーター2人、地域のボランティア3人、幼児教育科教員2~5人、
幼児教育科2、3年次生

○第11回こども祭開催 日程:1/18(日)

幼児教育科が中心となって企画運営し、学生の学修成果発表の機会と地域の子育て支援の一環として全学科が参加して、劇、人形劇、パネルシアター、エプロンシアター、演奏、遊びのコーナーなどの内容で開催した。

また、連携に関する協定を交わした大垣共立銀行エルズプロジェクトからの参加協力を得た。

○大垣市などとの連携事業

・子育てママ大学(全5回シリーズ)〈全学科〉

日程:6/5(木)、7/3(木)、10/2(木)、11/6(木)、12/4(木)

参加者総数:121人(子:130人)

・歯の健康フェスティバル2014〈歯科衛生科26人〉

日程:6/8(日) 場所:大垣城ホール

・第19回市民の健康広場〈歯科衛生科〉

日程:10/19(日) 場所:大垣城ホール

・似顔絵描き、自治体等広報紙でのマンガ掲載〈デザイン美術科〉

・公開講座

☆保育実践を語る会「土曜の会」〈幼児教育科〉

毎月第3または第4土曜日 於:本学カフェテリアまたは彦根市内『寺子屋』

☆第7回学術シンポジウム〈歯科衛生科〉

日程:9/21(日) 於:本学みずきホール

テーマ:食べる!楽しむ!お口のリハビリ!

概要:3人の講演と、シンポジウム

☆障がいを持つ子どもと親に対する相互作用的な音楽療法〈音楽総合科〉

日程:9/22(月) 於:本学多目的ホール

講師:アメリア・オールドフィールド氏

☆地域住民の健康相談『がやがや健康相談』〈看護学科〉

毎月第2金曜日 於:本学I号館1階

・出前講座 46 講座開設

Ⅲ 財務の概要

(1)平成 26 年度決算の状況

○収入について

大垣女子短期大学では 5 学科中 4 学科が入学定員を下回る入学者数となったが看護学科が開設 2 年目となり、収容定員数が 80 人増加したことにより学生数は 648 人（前年度比＋82 人）となった。日本中央看護専門学校では閉校の年度で、3 年次生のみで学生数 41 人（前年度比－42 人）となった。以上により、学生生徒等納付金収入は前年度比＋5,517 万円（108.1%）となった。

一方、平成 27 年度入学希望者（受験者）数は伸び悩み、入学検定料を含む手数料収入は前年度比－161 万円となった。

また、看護学科に対する地域の企業からの支援がなくなったことにより、寄付金収入は前年度比－670 万円。国庫補助金は増加したが地方公共団体からの支援分がなくなったことにより、補助金収入は前年度比－3,721 万円となった。

○支出について

看護学科が開設 2 年目となったことから、2 年次開講科目に対応する専任教員及び非常勤講師の数が増加したことが主要因となり、人件費支出は前年度比＋1,562 万円となった。

教育研究経費及び管理経費（資金収支ベース）は、全体で＋137 万円となった。

具体的には、平成 26 年度はスクールバス委託料増加、看護学科で個人情報の取扱いに関するガイドライン作成費用及び実習費増加等が挙げられる。一方、平成 25 年度にのみ発生した、揖斐川河川敷グラウンド返還に伴う工作物の撤去費用、地域感謝 DAY 実施経費は無くなった。

施設関係支出は、前年度比＋58 万円の 3,827 万円となった。平成 26 年度の主な項目は、C 号館熱源機取替工事で 2,738 万円、D 号館 1 階トイレ改修工事で 118 万円、E 号館 1 階トイレ改修工事で 165 万円、H 号館 2 階トイレ改修工事で 657 万円であった。一方、平成 25 年度の主な項目は、G 号館 201 教室改修（2,310 万円）であった。

設備関係支出は、前年度比－1 億 7,182 万円の 2,244 万円となった。減少の主な要因は、平成 25 年度にのみ発生した特異項目（G 号館 201 教室等の備品 7,603 万円、I 号館の備品 1 億 11 万円、マイクロソフト社の Windows XP サポート終了に伴う学内パソコンの入替 1,364 万円）の減少である。一方、平成 26 年度の主な項目は、音楽総合科の楽器類に 960 万円、デザイン美術科のペンタブレットに 369 万円、看護学科の実習機器類に 445 万円であった。

支払資金（現金及び現金と同等の預貯金）は、平成 26 年度末は 6 億 9,505 万円（前年度比＋5,267 万円）となった。

学校法人の経営状況の指標として、帰属収入は 8 億 8,306 万円。基本金組入額は 959 万円となり、帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入合計は 8 億 7,346 万円であった。一方、消費支出合計は 9 億 4,620 万円であり、消費収入から消費支出を差し引いた当年度消費支出超過額（赤字）は 7,273 万円であった。その結果、前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額（赤字）は 24 億 4,844 万円であった。なお、基本金組入額を控除する前の帰属収入から消費支出を差し引いた当年度の帰属収支差額は 6,313 万円の支出超過（赤字）であった。

(2) 経年比較

① 貸借対照表 (単位：千円)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	本年度
固定資産	3,973,163	3,910,451	3,925,548	4,196,635	4,090,670
流動資産	635,606	584,050	955,641	649,301	719,245
資産の部 合計	4,608,769	4,494,501	4,881,189	4,845,936	4,809,915
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	225,215	239,532	329,960	346,197	373,315
負債の部 合計	225,215	239,532	329,960	346,197	373,315
基本金の部 合計	5,604,850	5,630,881	6,677,678	6,875,450	6,885,046
消費収支差額の部合計	△1,221,296	△1,375,912	△2,126,449	△2,375,711	△2,448,446
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,608,769	4,494,501	4,881,189	4,845,936	4,809,915

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書 (単位：千円)

収入の部	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	本年度
学生生徒等納付金収入	416,161	440,564	564,193	673,927	729,102
手数料収入	7,909	7,497	18,406	13,639	12,020
寄付金収入	3,773	3,724	44,006	11,940	5,233
補助金収入	121,561	75,220	320,988	159,009	121,792
資産運用収入	11,068	10,118	4,103	3,768	4,329
資産売却収入	25,921	30,750	2,820	395	0
事業収入	1,472	2,899	8,812	1,966	3,298
雑収入	3,250	2,983	3,211	754	368
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	204,072	216,314	291,710	313,080	335,021
その他の収入	475,325	389,939	962,699	201,657	2,764
資金収入調整勘定	△200,364	△204,598	△416,560	△291,756	△330,824
前年度繰越支払資金	613,959	610,164	579,403	747,689	642,383
収入の部 合計	1,684,109	1,585,574	2,383,791	1,836,068	1,525,486

支出の部	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	本年度
人件費支出	404,722	404,753	491,000	537,200	552,823
教育研究経費支出	86,230	90,877	143,162	132,543	130,692
管理経費支出	64,099	71,200	88,101	86,147	89,375
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	627	7,854	884,943	37,690	38,278
設備関係支出	21,283	43,429	35,137	194,273	22,443
資産運用支出	497,710	388,725	0	200,000	0
その他の支出	4,180	4,801	7,739	13,652	7,179
資金支出調整勘定	△4,906	△5,468	△13,980	△7,822	△10,426
次年度繰越支払資金	610,164	579,403	747,689	642,382	695,055
支出の部 合計	1,684,109	1,585,574	2,383,791	1,836,068	1,525,419

イ) 消費収支計算書 (単位：千円)

消費収入の部	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	本年度
学生生徒等納付金	416,161	440,564	564,193	673,927	729,102
手数料	7,909	7,497	18,406	13,639	12,020
寄付金	7,129	8,925	218,167	17,255	12,156
補助金	121,561	75,220	320,988	159,009	121,791
資産運用収入	11,068	10,118	4,103	3,768	4,329
資産売却差額	2,345	9,134	330	395	0
事業収入	1,472	2,899	8,812	1,966	3,298
雑収入	3,250	3,103	12,460	1,210	369
帰属収入 合計	570,895	557,460	1,147,459	871,169	883,065
基本金組入額 合計	0	△26,031	△1,046,796	△197,772	△9,597
消費収入の部 合計	570,895	531,429	100,663	673,397	873,468

消費支出の部	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	本年度
人件費	404,722	404,753	491,000	537,200	552,823
教育研究経費	184,394	188,648	248,684	284,346	278,442
管理経費	78,196	85,367	101,246	99,647	102,743
借入金等利息	0	0	0	0	0
資産処分差額	4,388	7,276	10,269	1,467	12,129
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	66
消費支出の部 合計	671,700	686,045	851,199	922,660	946,203
当年度消費支出超過額	△100,804	△154,616	△750,537	△249,262	△72,735
前年度繰越消費支出超過額	△1,155,878	△1,221,296	△1,375,912	△2,126,449	△2,375,711
基本金取崩額	35,386	0	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	△1,221,296	△1,375,912	△2,126,449	△2,375,711	△2,448,446

(3) 主な財務比率比較 (単位：%)

比率名	算式	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	本年度	平均／指標
帰属収支差額比率	$\frac{(\text{帰属収入}-\text{消費支出})}{\text{帰属収入}}$	△17.7	△23.1	25.8	△5.9	△7.1	△1.2 ／↑
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	117.7	129.1	845.6	137.0	108.3	111.7 ／↓
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	72.9	79.0	49.2	77.4	82.6	61.8 ／～
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	70.9	72.6	42.8	61.7	62.6	58.5 ／↓
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	32.3	33.8	21.7	32.6	31.5	25.7 ／↑
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	13.7	15.3	8.8	11.4	11.6	10.3 ／↓
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	282.2	243.8	289.6	187.6	192.7	282.1 ／↑
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金 ※1}}$	5.1	5.6	7.2	7.7	8.4	12.8 ／↓
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金 ※2}}$	95.1	94.7	93.2	92.9	92.2	88.7 ／↑
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	99.9	100.0	100.0	97.7

※1 自己資金＝基本金＋消費収支差額

※2 総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額

※平均＝全国短大法人平均(25年度)

※指標＝↑高い値がよい、↓低い値がよい、～どちらともいえない

基本金比率については、100%に近い数字がよい

(4) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄	額面	帳簿価額	時価	表示科目	摘要
債券	国債	14,600,000 円	14,515,320 円	15,291,191 円	減価償却引当	
			97,820 円	103,049 円	特定資産 有価証券	

②借入金の状況

借入先	借入残高	利率	返済期限	担保等
なし				

③学校債の状況

発行年度	本年度末残高	利率	償還期限	摘要
なし				